

令和7年度取組状況 目次

1	健康増進課	1
2	生涯学習課	4
3	生活衛生課	6
4	保健体育課	10
5	農政課	11
6	水産課	13
7	畜産課	14
8	農地課・環境農政局総務室	15
9	資源循環推進課	16
10	農業振興課	17



(様式)

取組名：食生活改善の普及啓発

【担当課：健康増進課】（資料1 No.22）

1 目的

地域において、食生活を中心とした生活習慣の改善を実践的に展開し、県民の健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図ることを目的に、県民が取組みやすい食情報を中心とした健康づくりの普及啓発を推進する。

2 予算額

390 千円（委託先 神奈川県食生活改善推進団体連絡協議会）

3 取組実績

生活習慣病予防に効果的とされている野菜料理、簡単な工夫で減塩することができる料理、食品ロスを意識した食材を無駄にしない料理、地域に根ざした食材の活用等食育推進の観点から地場産物・和食に着目した料理で、地域及び職域で活用できる各レシピの開発・作成（計16品目）

地域住民を対象に訪問や資料配付等により、開発した上記レシピを活用しながら食生活改善の普及啓発活動を実施しました。

（開発したメニューは県HPでも紹介）



(様式)

取組名：事業所給食を通じた情報提供

【担当課：健康増進課】（資料1 No.31）

1 目的

県食育推進計画の目標の1つである「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の推進」を重点テーマに、県域の全事業所給食施設に対し、各事業所で行う従業員への食教育等の充実を図る。

2 予算額

21 千円

3 取組状況

県域の全事業所給食施設に対し、各事業所で行う食教育等の充実を図るため、食育情報を提供するための啓発物品や媒体等を提供した。

食教育の取組み支援の必要性の高い施設を対象に、食育講話や、イベントブースの設置などの従業員への健康づくりの取組みの企画・実施の支援を行った。

(様式)

取組名：かながわ食育月間の推進

【担当課：健康増進課】（資料1 No.39）

1 目的

夏休みに入り子どもの食生活が乱れがちになる毎年8月を「かながわ食育月間」と位置づけ、市町村、民間と連携して、家庭での食事のほか友人や仲間、近隣コミュニティなどで共に楽しく食事をする「共食」などの食育普及啓発を図る。

2 予算額

60 千円

3 取組予定

「かながわ食育月間」、「みんなでいただきますの日」等を周知するポスター等による食育普及

4 取組状況

(1) 「かながわ食育月間、みんなでいただきますの日」の啓発ポスターを作成し、市町村及び地域の食品流通事業者（スーパーマーケットなど）の店舗等において掲示し、食育の普及を図った。

作成部数 350 部

掲示箇所 ユーコープ、Fuji スーパー、相鉄ローゼン各店舗、県内市町村を含む行政機関、食育団体等

(県HPでも紹介)



(様式)

取組名：子どもの生活習慣改善の支援

【担当課：生涯学習課】（資料1 No.1）

1 目的

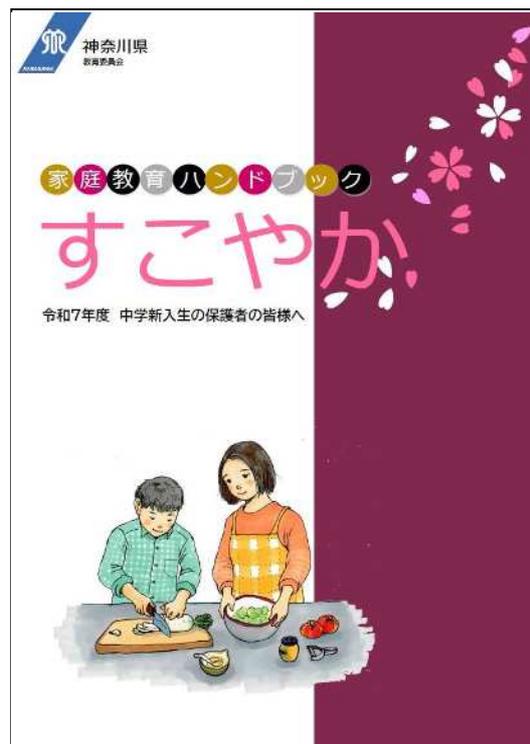
県内（政令市を除く）の新中学1年生の保護者に向け、家庭における基本的な生活習慣等について啓発し、子どもの生活習慣改善の支援を行う。

2 予算額

1,000 千円

3 取組状況

家庭教育啓発冊子「家庭教育ハンドブックすこやか」を、県内の新中学1年生の保護者等（政令市立の学校を除く）に配付し、食生活や睡眠を含む基本的な生活習慣について啓発した。また、冊子をホームページに掲載した。



(様式)

取組名：社会教育関係団体を通じた情報提供

【担当課：生涯学習課】（資料1 No.3）

1 目的

PTAへの理解とその活動を推進するための冊子「PTA活動のためのハンドブック」を活用し、会議や研修会などを通して、食育の推進を図る。

2 予算額

0千円

3 取組状況

- ・ 「PTA活動のためのハンドブック」を各市町村PTA所管課等に配付するとともに、各単位PTAへの周知を依頼した。また、ホームページに掲載した。
- ・ 上記ハンドブックについて、神奈川県PTA協議会、神奈川県立高等学校PTA連合会の会議等で周知し、その中で食生活改善等の情報提供を行った。

(ハンドブック)

(ハンドブックちらし)

The image shows the front and back covers of a handbook titled "PTA活動のためのハンドブック" (Handbook for PTA Activities). The front cover (left) features the Kanagawa Prefecture Education Commission logo and a colorful illustration of children and adults. The back cover (right) includes the title, a subtitle "役立つ情報が満載です!" (Full of useful information!), and a list of contents. It also mentions a revision in April 2023 and a partial revision in March 2025. A QR code is provided for digital access.

神奈川県教育委員会

令和5年4月改訂
(令和7年3月一部改訂)

役立つ情報が満載です!

PTA活動のための ハンドブック

PTAは、子どもの豊かな成長を図ることを目的とし、保護者と教職員によって自主的に構成される団体です。学校とPTAは、対等な立場で協力関係(パートナーシップ)を築き、密接な連携を図っていくことが大切です。(第1章より)

第1章 PTAって何だろう?
PTAの目的や特徴

第2章 PTAの活動って何だろう?
PTAの組織
役員の仕事と選出方法
事業計画・予算編成 ほか

第3章 子どもを守るために
大事なことって何だろう?
食生活や生活習慣に関する課題
情報メディアの正しい活用法
いじめ問題・暴力行為等への取組 ほか

＝令和7年3月改訂のポイント＝

【新報追加】
- 生命(いのち)の安全教育 (P51)
- いわゆる「闇バイト」について (P52)
- 神奈川県公式アプリについて (P66)
- ICTを用いた活動負担の軽減術 (P26)

【統計等の更新】
- 食生活や生活習慣に関する課題 (P45～)
- いじめ問題・暴力行為等への取組 (P53～)
- 不登校や引きこもりに関する課題 (P58～)
- 児童福祉所の虐待相談件数 (P70)
- 連絡先等の更新 (P102～)

<参考資料>
『かながわ青少年育成・支援指針』『私費会計基準』 ほか

インターネットで今すぐ、クリップ!

こちらからもご覧いただけます

PTA活動のためのハンドブック 第3章

QRコード

神奈川県 | 問合せ先/神奈川県教育委員会教育局生涯学習課生涯学習課 電話(045)210-8347

(様式)

取組名：食品の安全性に関する情報提供

【担当課：生活衛生課】（資料1 No.43）

1 目的

食品の安全性や食品衛生に関する啓発資料の配布により、県民の食品の安全性や食品衛生への理解や意識の向上を図る。

2 予算額

805 千円

3 取組状況

(1) 「かながわの食品衛生 for KIDS」の作成・配布

食育のための食品安全リーフレット「かながわの食品衛生 for KIDS」を作成し、県内の小学6年生に配布した。また、リーフレットをホームページに掲載した。

	学校数
紙リーフレット配布	597 校
ホームページ掲載案内※	339 校
計	936 校

※紙での配布を希望しない学校に対しては、リーフレット掲載ホームページの URL を案内

(2) 子ども向けホームページでの食品の安全性や食品衛生に関する情報の提供

食中毒予防や食品表示について、動画やクイズで楽しく学べるよう工夫し、子ども向けホームページにて情報を提供した。

(様式)

取組名：食品表示法に基づく食品表示に関する情報提供

【担当課：生活衛生課】（資料1 No.45）

1 目的

食品表示に関する啓発資料の配布により、県民の食品の安全性や食品衛生への理解や意識の向上を図る。

2 予算額

419 千円

3 取組状況

(1) 食品表示セミナーの開催

	開催日	開催場所	参加人数	テーマ
1	R7. 6. 19	松田町健康福祉センター	25 名	食品表示から読み解く健康食品・サプリメントとの上手な付き合い方
2	R7. 10. 9	小田原市生涯学習センターけやき	19 名	正しく学ぶ食品表示
3	R8. 2. 10 (予定)	藤沢市保健所大会議室 (予定)		食品表示から読み解く食品添加物 (予定)

(2) 食品の適正表示講習会の実施

食品関連事業者が自らの責任と自覚をもって食品表示を適正に行えるよう、ホームページで説明付きの講義資料を用いた啓発を図った。

(様式)

取組名：かながわ食の安全・安心基礎講座等の開催

【担当課：生活衛生課】（資料1 No.46）

1 目的

食の安全・安心に関する基礎的な情報を県民向けの講座等において提供し、食の安全・安心に関する知識と理解を深めてもらう。

2 予算額

419 千円

3 取組状況

(1) かながわ食の安全・安心基礎講座の開催

	開催日	開催場所	参加人数	テーマ
1	R7. 7. 2	中井町保健福祉センター	30 名	正しく学ぶ野生鳥獣の肉（ジビエ）
2	R7. 7. 29	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社海老名工場	20 名	見て聞いて学ぼう！ ～清涼飲料水ができるまで～
3	R7. 8. 1 R7. 8. 5 R7. 8. 8	神奈川県食肉衛生検査所	59 名	牛と豚がお肉になるまで
4	R7. 8. 21	雪印メグミルク海老名工場	30 名	牛乳工場をのぞいてみよう！ ～おいしい牛乳ができるまで～
5	R7. 9. 25	茅ヶ崎市男女共同参画推進センターいこりあ	22 名	日常生活で役立つ、実践的な食中毒予防

(2) かながわ食の安全・安心ラボの開催

	開催日	開催場所	参加人数	テーマ
1	R7. 10. 25 R7. 10. 26	日本大学生物資源科学部	155 名	体験して学ぼう！食の安全・安心
2	R7. 11. 1 R7. 11. 2	鎌倉女子大学大船キャンパス	454 名	体験して学ぼう！食の安全・安心

(様式)

取組名：かながわ食の安全・安心キャラバンの開催

【担当課：生活衛生課】（資料1 No.47）

1 目的

県民の関心が高いテーマについてわかりやすく情報を提供し、意見交換を行うことで、情報共有及び相互理解を図る。

2 予算額

419 千円

3 取組状況

かながわ食の安全・安心キャラバンの開催

開催日	開催場所	参加人数	テーマ
R7. 5. 30	小田原市生きがいふれあいセンターいそしぎ	16名	今日から実践できる食中毒予防のポイント～衛生的な手洗い方法を学ぼう～

(様式)

取組名：学校給食における県内産農林水産物の活用促進

【担当課：保健体育課】（資料1 No.54）

1 目的

神奈川県内の学校給食において、地場産物の活用を通して、児童生徒や教職員をはじめ、保護者、地域住民等の県内農林水産物への理解を深めるとともに、地場産物や地域の産業への理解と関心を高める。

2 予算額

0千円

3 取組予定

- ・ 公立小・中学校における「かながわ産品学校給食デー」の実施支援
- ・ 県ホームページによる「かながわ産品学校給食デー」の取組紹介
- ・ 情報提供による地場産を使用した学校給食の支援

4 取組状況

(1) 公立小・中学校における「かながわ産品学校給食デー」の推進

県産品をできるだけ多く使用し、県産食材について理解を深める「かながわ産品学校給食デー」を、県内公立小中学校及び特別支援学校に広めるため、県内全市町村に呼びかけている。

<参考> 「かながわ産品学校給食デー」実施率（令和6年度）

○1回以上の実施：92.5%

○3回以上の実施：82.4%

(2) 「かながわ産品学校給食デー」県産食材活用情報の発信

県ホームページにおいて「かながわ産品学校給食デー」で提供した献立や取組内容を紹介するほか、市町村に対し他地区の取組等の情報を共有し、活用を促している。

(様式)

取組名：かながわブランド等の展開

【担当課：農政課】（資料1 No.56）

1 目的

優れた県内産の農林水産物やその加工品について、県民の皆さまに理解を深めていただくことで消費拡大を図るとともに、多彩な産地づくりを促進して、本県の特徴を活かした神奈川らしい農林水産業の振興を目的としています。

2 予算額

23,500 千円

3 取組予定

- (1) かながわブランドキャラバン等の販売促進イベントの愛妻
- (2) 「かなさんの畑」のホームページ及びInstagramでの情報発信
- (3) 主要駅でのデジタルサイネージを活用した広告
- (4) EC サイトでの神奈川物産展の開催

4 取組内容（令和7年12月1日現在）

- (1) かながわブランドキャラバン等の販売促進イベントの開催
「足柄茶 100 周年記念 県内 J A 直売所一斉キャンペーン」や「キッズパティシエ教室」での講師など、販促イベント等に 9 回参加した。
- (2) 「かなさんの畑」のホームページ及びInstagramでの情報発信
かなさん畑のホームページの運営や、Instagramでの情報発信を実施しており、令和7年12月1日現在でフォロワーは約 2,000 人となっている。
- (3) 主要駅でのデジタルサイネージを活用した広告
県民の方に幅広くかながわブランドを知っていただくため、横浜駅やみなとみらい駅等でデジタルサイネージとポスターによるプッシュ型広告を実施した。
- (4) EC サイトでの神奈川県フェア
楽天市場のまち楽内で神奈川県フェアを開催し、生産者の販路拡大や、かながわブランドの PR を実施予定。

(様式)

取組名：花と緑のふれあいセンターの運営

【担当課：農政課】（資料1 No.59）

1 目的

農業やその生産物にふれ、親しみそして学ぶ場を提供することで、農業に対する理解促進を図る。

2 予算額

77,744 千円（維持管理費）

3 取組予定

- (1) 農業に親しんでもらうための講座の開催（7回程度）
- (2) 農業と食にふれあう体験を提供する「気づき体験事業」の実施（63回程度）

4 実施状況

令和7年12月1日時点

- (1) 農業に親しんでもらうための講座の開催(食育関係のみ)

	実施回数	参加人数	内容等
農業講座	7回	169人	ハーブを暮らしに取り入れることを目的に、知識から栽培までを学ぶ。

- (2) 農業と食にふれあう体験を提供する「気づき体験事業」の実施

	回数	参加人数	内容
稲作体験	2回	44人	田植え
	2回	47人	稲刈り
	2回	194人	脱穀・粃摺り
収穫体験	61回	883人	タマネギ、ジャガイモ、湘南ポモロン、ナス、落花生、ウメ、カキ等の収穫体験

(様式)

取組名：地元水産物の消費促進

【担当課：水産課】（資料1 No.57）

1 目的

水産業及び県産水産物・加工品に対する県民の理解促進と消費拡大を図る。

2 予算額

2,450 千円

3 取組予定

- (1) パンフレット「かながわの魚」による広報
- (2) 手軽に食べられる水産加工品の開発

4 取組状況

- (1) パンフレット「かながわの魚」による広報

県産水産魚や県内の直売所・飲食店を紹介するリーフレットやノベルティの配布や、県と小売店等がタイアップした PR イベント等（イオンリテールとの包括協定にもとづく神奈川再発見フェア）に参加することにより、県内水産物の認知度向上と需要喚起を図っている。

- (2) 手軽に食べられる水産加工品の開発

低・未利用水産物の活用や地域の特徴を生かした水産加工品の開発に注力しており、小田原漁港で多く水揚げされる小型カマスを食べ歩きできるようにした加工品「北条一本抜きカマス：通称かます棒」、小型サバを用いた「サバのコンフィ」、一時的に大量に獲れ、鮮度劣化が早いマルソウダを生風ふりかけにした「うまっソウダふりかけ」等を開発しました。

近年では、三浦市三崎で取り扱われるカジキやサメ、イトヨリダイの未晒しすり身（水にさらさずに製造されたもので、水溶性のうまみ成分が残っている）に、平塚市産のかながわブランド登録野菜「しょうなん小松菜」やニンジンなどの県内産野菜を浅漬けにしたものを加えた、魚のうまみと野菜の歯ごたえが生きた揚げかまぼこを、平塚市内の老舗蒲鉾店と共同開発しました。これは、「湘南七夕揚げ」と名付けられ、同店店頭やウェブサイト上で販売されています。

現在は、クロダイ等、よく見られるようになったが需要が少ない魚種の利用につながる研究などに取組んでいます。



北条一本抜きカマス



うまっソウダふりかけ



湘南七夕揚げ

(様式)

取組名：畜産交流の実施と地元畜産物の知名度向上

【担当課：畜産課】（資料1 No.58）

1 目的

畜産及び県産畜産物に対する県民の理解促進を図る。

2 予算額

966 千円

3 取組予定

- ・ かながわトントンまつり等の開催
- ・ かながわの畜産物認知度向上のため、イベントの開催やホームページ・SNSを活用した情報発信

4 取組状況

(1) かながわ畜産物フェア 2025 の開催

- 日時 令和7年10月13日（月）
- 場所 川崎競馬場
- 主催 かながわ畜産ブランド推進協議会
- 内容 県産畜産物の福引抽選会、チャリティーたまごくじ

(2) かながわ畜産の日フードフェス 2025・第34回かながわトントンまつりの開催

- 日時 令和7年11月2日（日）
- 場所 湘南台公園・湘南台公民館
- 来場者数 4,000人
- 主催
 - ・ かながわ畜産の日フードフェス 2025
： かながわ畜産ブランド推進協議会、神奈川県馬事畜産振興協議会
 - ・ かながわトントンまつり： 県養豚協会
- 内容： 県産畜産物の販売、県内銘柄豚肉の販売、豚のハガキ絵コンクール、模擬搾乳体験、家畜の展示など生産者との交流、かながわの畜産を紹介するパネル展示等

(3) 牛乳の日イベント in 花菜ガーデンの開催

- 日時 令和7年6月1日（日）
- 場所 花と緑のふれあいセンター 花菜ガーデン
- 来場者数 約2,900人
- 主催 かながわ酪農活性化対策委員会
- 内容 県産生乳100%の牛乳の飲み比べ、模擬搾乳体験、トラクターの展示およびデモ等

(様式)

取組名：農林水産業についての理解促進

【担当課：環境農政局総務室・農地課】（資料1 No.60）

1 目的

神奈川県都市農業推進条例の基本的施策にある「食と農に対する県民の理解の促進」を推進するため、生産の基盤となる農地及び農業用施設等の有する生産機能や多面的機能の理解促進や、県農林水産業の理解促進を図る。

2 予算額

1,050千円（R7.12時点決算見込額 915.2千円）（県環境農政局総務室）

※広報誌「わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業」の発行

480千円（県農地課）

3 取組状況（令和7年12月末時点）

(1) 広報誌「わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業」の発行

県農林水産業の現状やそれを担う人々の姿を知っていただき、わたしたちのくらしを支えている農林水産業について多くの方に理解を深めていただくため、本冊子を8月（年1回）に発行

(2) かながわ農林水産業出前講座の実施

県農林水産業の魅力や課題について県民の皆様に理解を深めていただくため、令和7年度は「漁場環境の保全」や「神奈川の森林」などについて、県職員が県民の皆様のもとへ出向いて講座を実施（実施回数：3回、参加延べ人数：200名）

(3) 農業農村の有する多面的機能に関する子どもたちへの理解促進活動の開催

小学校の総合学習を利用した出前講座では、田植えや稲刈り体験に加え、食料自給率や農業用水路の必要性について説明を行ったほか、保育園では、バケツ稲を使った農育を実施するなど、併せて農業や農村の有する多面的機能の講義を行い、子どもたちの農業への理解を促進（実施回数：4回、参加延べ人数：220名）



写真1 保育園での農育



写真2 小学校での出前講座

(様式)

取組名：食品ロス削減に関する普及啓発

【担当課：資源循環推進課】（資料1 No.62）

1 目的

県民の食品廃棄物の発生抑制に対する意識を高め、食品廃棄物の発生抑制の推進を図る。

2 予算額

6,844 千円

3 取組予定

- (1) 食品ロス削減に向けた普及啓発
- (2) フードバンク活動への理解や協力を促進するための普及啓発

4 取組状況

(1) 食品ロス削減の普及啓発

- ・ 県ホームページ、テレビ及びラジオ等により、「てまえどり」「食べきり」「3010運動」などの食品ロス削減の取組を紹介し、普及啓発を行った。
- ・ イベントで食品ロスに関するチラシを配布し、県民への普及啓発を行った。
- ・ 九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会ホームページに、食品ロス削減をテーマとしたマンガ及びクレイアニメの動画を掲載した。
- ・ 食品ロス削減をテーマとする講座で、講演した。（8月、10月）
- ・ 飲食店での食品ロスの取組を見える化するステッカー及び小学校高学年を主な対象とした食品ロスに関するマンガを作成する。

(2) フードバンク活動への理解や協力を促進するための普及啓発

- ・ フードバンク活動について、県ホームページにおいて普及啓発を行った。
- ・ デジタル技術を活用した企業が抱える規格外品等の食品と子ども食堂等が希望する食品をマッチングし、支援先のニーズに応じた食品の提供を行う取組を開始した。

(様式)

取組名：環境保全型農業の推進

【担当課：農業振興課】（資料1 No.65）

1 目的

環境保全型農業推進基本方針に基づき、環境保全型農業及び有機農業の普及に努めた結果、環境保全型農業については定着化が図られている。令和3年5月に国が定めたみどりの食料システムの目標実現に向け、環境保全型農業実践者の拡大及び有機農業の推進に向け、一層の推進を図ることが必要である。

2 予算額

1,038 千円

3 取組予定

- (1) 環境負荷低減事業活動の認定
- (2) オンラインによる受講申込（e-KANAGAWA 電子申請システム）も可能な環境保全型農業技術研修会の実施

4 取組状況

- (1) 環境保全型農業などの環境負荷低減事業活動を実施する計画を8件認定した（令和7年11月末時点）。
- (2) オンラインによる受講申込も可能な環境保全型農業・有機農業技術研修会を令和8年2～3月に実施予定。